

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名		快適な都市環境が整ったまち		施策番号・名		24		交通安全の推進				基本事業番号・名		24-02		交通安全意識の醸成			
事務事業番号	所管課係名	事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータル コスト	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)					
	事務事業名		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	① (千円)	② (千円)	①+② (千円)								
24-02-01	都市計画課 街路交通計画係	対象	市内小学校新入学児童	市内小学校新入学児童	平成21年度	平成21年度	新入学児童に対する 安全教育に関する 要望件数	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)			
	新入学児童交通安全指導事業	手段	993 (人)		71 (人)	未把握 (%)		189	202	391	22年度以降に向けた方向性	現状維持		所管課長名:	都市政策担当 土屋健治				
			平成20年度		平成20年度	平成20年度		平成20年度	対象者を新入学児童に限定せず、広げること で、参加者の拡大を図る。	事業自体は、現状維持であるが、対象者の拡大 を図っていく。									
			995 (人)		63 (人)	未把握 (%)		200			198	398							
		意図	児童の交通安全ルール体得	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	未把握 (%)	189	197	386								
			976 (人)		64 (人)														
24-02-02	都市計画課 街路交通計画係	対象	市民(自動車・バイク・自転車の利用者、歩行者)	市民	平成21年度	平成21年度	交通ルールやマナー違反を日常的 に見かける市民の割合(施策成果アンケート「交通 ルールやマナー違反を日常的に見かける」で「そう思 う」+「どちらかといえばそう思 う」の割合)	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)			
	交通安全対策啓発事業	手段	116,579 (人)		4,000 (人)	未把握 (%)		1,719	757	2,476	22年度以降に向けた方向性	現状維持		所管課長名:	都市政策担当 土屋健治				
			平成20年度		平成20年度	平成20年度		平成20年度	交通安全に対する意識向上の拡大を図るた め、21年度より中学生を対象とした交通安全 教室を実施。	所轄の警察署や関係機関と連携を図り、啓発 活動を強化していく。									
			116,117 (人)		4,000 (人)	63.6 (%)		252			494	746							
		意図	交通安全意識向上や交通ルール・マナーを体得し、交通規則を遵守してもらう。	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	67.4 (%)	216	493	709								
			115,996 (人)		4,000 (人)														
24-02-03	都市計画課 街路交通計画係	対象	東久留米市交通安全協会	市民	平成21年度	平成21年度	交通安全協会が各種行事で行なった 交通安全活動・キャンペーン等の 活動日数	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)			
	交通安全協会支援事業	手段	116,579 (人)		40 (日)	未把握 (%)		1,800	1,009	2,809	22年度以降に向けた方向性	現状維持		所管課長名:	都市政策担当 土屋健治				
			平成20年度		平成20年度	平成20年度		平成20年度	現在の補助金の使途状況から考えると、改 革改善の余地は少ないものと考えてるが、全庁 的課題として支援のあり方が挙げられており 検討していく必要がある。	事業自体は現状維持と考えるが、各種団体と の連携強化などによるより効果的な啓発活動等 の検討をお願いしていく。									
			116,117 (人)		38 (日)	未把握 (%)		1,800			989	2,789							
		意図	活動を補助することで、東久留米市交通安全協会で様々な交通安全活動が実施できるようになり、市民の交通安全意識の向上が図れる。	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	未把握 (%)	1,800	986	2,786								
			115,996 (人)		38 (日)														
24-02-04	施設管理課 道路河川施設担当	対象	市民	市民から交通安全に関する要望数	平成21年度	平成21年度	広報活動日	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)			
	交通安全指導車管理事業	手段	153 (件)		60 (日)	202 (日)		136	2,033	2,169	22年度以降に向けた方向性	現状維持		所管課長名:	施設管理課 古澤毅彦				
			平成20年度		平成20年度	平成20年度		平成20年度	交通安全対策のための広報活動、交通安全 教室については、今後も活動して行くため、 事務事業としては現状維持する必要がある。	交通安全対策に伴う広報活動としての指導車 は、事業実施にあたり必要な事業であるため、 現状維持していく。									
			130 (件)		60 (日)	218 (日)		112			1,992	2,104							
		意図	市民への交通安全に対する広報活動等を行う。	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	210 (日)	159	1,986	2,145								
			141 (件)		60 (日)														